

2024年度事業報告・会計報告 及び2025年度事業計画案・収支予算案

2025年4月25日

東京都品川区西五反田一丁目26番2号
五反田サンハイツ内

公益社団法人 日本分析化学会

2024年度（令和6年度）事業報告書

（2024年3月1日～2025年2月28日）

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	令和7年2月28日 現在	令和6年2月29日 現在	
名誉会員	51	52	-1
永年会員	352	331	21
正会員	2,776	2,964	-188
シニア会員	112	67	45
教育会員	1	1	0
学生会員	539	550	-11
ジュニア会員	14	5	9
維持会員	177.5	182	-4.5
特別会員	478	492	-14
公益会員	293	294	-1
計	4,793.5	4,938	-144.5

1. 第13回定時総会（定款第17条）

日時 令和6年4月26日（金）
場所 日本分析化学会 Web 会議方式 総社員数 114名 出席者数 94名

2. 会誌、研究報告および資料の刊行（定款第5条（1））

- ①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり、電子版にて発行した。
発行年月日 巻号
自 令和6年3月5日 2024 3
至 令和7年2月5日 2025 2
毎月1回5日に発行。すべての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行（約1,500部）。
- ②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。
発行年月日 巻号 発行部数
自 令和6年3月5日 73 3 1,800
至 令和7年1月5日 74 1・2 1,800
（1, 3, 4, 6, 7, 9, 10, 12月5日発行）
- ③英文論文誌「Analytical Sciences」をSpringer Nature社から電子版にて、下記のとおり発行した。
発行年月日 巻号
自 令和6年3月10日 40 3
至 令和7年2月10日 41 2
毎月1回10日に発行
すべての維持会員と、特別会員、公益会員および個人会員の希望者には冊子体発行（約330部）。
- ④学会、ぶんせき、分析化学、Anal. Sci. 4種のメールマガジンを毎月1回発行した。ただし、「分析化学」誌は発行月のみ年8回。
- ⑤教育用DVDならびにビデオシリーズの頒布を行った。

3. 講演会、講習会および研究会の開催（定款第5条（2））

〔研究発表会〕

- ①第84回分析化学討論会
日時 令和6年5月18日・19日
場所 現地開催（京都工芸繊維大学）講演数454件、参加者数858名
- ②第73年会
日時 令和6年9月11日～13日
場所 現地開催（名古屋工業大学）講演数602件、参加者数1,166名

4. 調査、研究および建議（定款第5条（3））

〔技能試験〕

- ①事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。
・ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第26回ダイオキシン類分析（河川底質）」参加試験所：40
- ②KMTL 技能試験“規制物質の無機分析試験”の諮問機関としてのフォロー業務を行った。

〔標準物質〕

新規標準物質は作製せず、これまで開発した各種標準物質の供給活動を行った。

〔関係団体との協力〕

- ①次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。
日本学術会議、（一社）化学情報協会、標準物質協議会、ASIANALYSIS 国際諮問委員会、（一社）日本化学連合／化学系学協会連絡会、男女共同参画学協会連絡会
- ②次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案などに協力した。
（一社）日本化学工業協会、（一社）日本試薬協会、（一社）日本環境測定分析協会、（一社）日本分析機器工業会

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条（4））

- ①2024年度学会賞を次のとおり授与した。
井原 敏博 君「合成核酸を利用した生体分析に関する研究」
坪井 泰之 君「光共鳴ピンセット技術の開発と分析化学への応用」
藤浪 真紀 君「陽電子消滅法による原子空孔分析の高度化」
- ②2024年度学会功労賞を次のとおり授与した。
齋藤 徹 君「水系分離化学の設計と応用技術の開拓および分析化学教育への貢献」
茶山 健二 君「新規な溶媒抽出試薬創製とイオン液体抽出デバイスの開発および学会への貢献」
- ③2024年度奨励賞を次のとおり授与した。
熊谷 将吾 君「有機炭素資源利用プロセス開発への熱分解ガスクロマトグラフィーの応用」
宋和 慶盛 君「電気分析化学と構造生物学による直接電子移動型酵素の反応機構解明」
外間 進悟 君「細胞内の物理化学量を分析するナノ計測技術の開発と応用」
中村 圭介 君「HPLCにおける保持機構解明および同位体希釈質量分析法による精確定量法の開発」
- ④2024年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
JAIMA 機器開発賞
小池 雅人 君 寺内 正己 君 村野 孝訓 君
大上 裕紀 君 越谷 翔悟 君 垣尾 翼 君
「X線ホログラフィック不等間隔溝回折格子の開発と高分解能発光分光システムへの応用」
- ⑤2024年度女性Analyst賞を次のとおり授与した。
中川 沙織 君「生体中のコレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発と臨床応用」
西垣 敦子 君「環境試料中の有機汚染物質の新規分析法の開発及び環境動態の解析」
- ⑥2024年度有功賞を次のとおり授与した（敬称略）。
井上 淳 曾我 賢一 岩崎 敏治 本川 睦文
末松 浩一 橘 宣幸 庄司 哲弘 渡辺 義市
橋本 敬子 大平 義途 吉原 英樹 神成かおり
中島 礼子 秋馬 立幸 佐々木康晴 藤井三千男
小山純一郎 池田 陽彦 沖 真一 佐藤 正光
山本 珠永 平澤 悟士 池田 慶一 浅野 貴男
野村 浩市 菊池 昌宏 久保井幸代 都木 健司
吉永 文博 矢橋 昭久 森田 浩之 酒寄 和紀
石黒 茂樹 柳内 厚人 松原 龍一 鷺尾 勝利
長谷川博子 林 裕美 酒井 公人 秋元 忠親
田中 美樹 楠本 義幸 坂本 美鶴 今野 正雄
御手洗利則 吉田 昌弘
- ⑦2023年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。
浦田 泰成 君 松山 嗣史 君 井上 史之 君
辻 幸一 君「共焦点型微小部蛍光X線分析法による爪試料の元素イメージング」
木村凜太郎 君 萬年 一剛 君 熊谷 英憲 君

松井 洋平 君 伊根須素子 君 高野 淑識 君
「箱根温泉・大涌谷の「黒たまご」黒色物質
の起源推定」

- ⑧他機関による表彰および研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第5条(5)）

〔広報〕

広報委員会展望とトピックス小委員会において、第84回分析化学討論会および第73年会研究発表の中で注目される研究内容を、小冊子「展望とトピックス」にまとめて発行し、ホームページを通し、また、報道機関の記者に同資料を配付して広報した。ホームページを通じて、本会から会員への情報提供、会員相互のコミュニケーション促進を図った。

〔若手交流会〕

年会討論会において若手ポスター賞選考を支援し、各支部での若手交流会企画と支部同士の情報交換を支援し、各支部に助成を行った。

〔研究懇談会〕

研究懇談会活動を次のように行った。

①有機微量分析研究懇談会

【委員長：榎飛雄真（千葉大学）、委員11名、会員数150名（個人会員144名、顧問6名）】委員会を2回（1回目はオンライン、2回目は対面+オンラインのハイブリッド形式）開催した。有機微量分析研究懇談会創立70周年記念大会シンポジウム（第91回有機微量分析研究懇談会、第125回計測自動制御学会力学量計測部会、第41回合同シンポジウム）を7月11日～13日、岐阜県岐阜市（岐阜大学）で開催（計測自動制御学会力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）。その内訳は記念講演1件、特別講演3件、口頭発表8件、ポスター発表7件、パネルディスカッション、フリーディスカッション、技術研修会および見学会である。講演会（第73年会9月11日、名古屋工業大学、招待講演1件）を開催したほか、会報26号を発行（2月）した。ホームページを順次更新し、内容の充実を図った。標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行った。また創立70周年記念事業として記念大会シンポジウム会期中に標準試料検定小委員会委員ならびに関係者の表彰を行った。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：佐藤 博（長崎国際大学）、運営委員会委員50名、会員数99名（個人会員45名、団体会員39名、名誉会員15名）】運営委員会はオンラインで3回、対面で1回開催した。研究会開催数4回（第386回～389回）、第73年会講演、ガスクロマトグラフィー研究懇談会特別講演会を開催した。年会講演以外は会場とオンラインのハイブリッドで開催。「ガスクロ自由自在Q&A（準備・試料導入編）・（分離・検出編）・（GC/MS編）」の発刊を行った。

③高分子分析研究懇談会

【委員長：本多貴之（明治大学）、運営委員17名、企画委員7名、会員数166名（個人会員65名、法人会員101社）】開催数：運営委員会7回、企画委員会4回、例会5回（第419回～423回；4月19日[大谷先生追悼講演会]、6月28日・29日、10月11日、12月20日、2月17日）、第73年会における研究懇談会講演（9月12日、名古屋工業大学）、第68回高分子分析技術講習会（応用編）（3月7日・8日、明治大学/オンライン）、第69回高分子分析技術講習会（基礎編）（8月5日・6日、明治大学/オンライン）、第29回高分子分析討論会（10月9日・11月1日、ウイックあいち）をそれぞれ開催した。

④X線分析研究懇談会

【委員長：佐藤成男（茨城大学）運営委員30名、参与9名、会員数123名（個人会員103名、団体会員20社）】開催数：例会2回（第281回・282回）、運営委員会2回。「X線分析の進歩」第55集をアグネ技術センターより出版したほか、J-STAGEに第53集および第38～41集に掲載した。第60回X線分析討論会（10月31日・11月1日、高知城ホールにて開催、参加者171名）を主催した。X線分析討論会において第18回浅田榮一賞を松山嗣史氏（岐阜大学）に、第1回「X線分析の進歩」論文賞を山崎真友子氏（東京電機大学）、小川理絵氏（島

津製作所）に授与した。また、X線分析討論会の口頭発表、ポスター発表に対し、6件の学生奨励賞を選考し授与した。

⑤分析試薬研究懇談会

【委員長：壹岐伸彦（東北大学）、運営委員会委員16名、参与委員15名、会員数100名（個人会員98名、賛助会員2名）】開催数：1回。第73年会において、分析試薬研究懇談会（9月13日、講演1件）を開催した。第21回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム（京都大学吉田キャンパス、6月1日・2日）を協賛した。

⑥液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：中村 洋（東京理科大学）、役員会役員の数30名、会員数190名（個人会員141名、団体会員49社）】コロナ禍が明け対面式で例会を合計12回実施した（第392～404回）。また以下の事業を対面式で行った。そのうち、第400回例会については特別事業として第400回記念例会（機械振興会館、10月23日）を全日開催し、創立50周年記念会（北とびあ、12月3日）と共に記念誌を発行した。特別LC研究懇談会講習会「HPLC & LC/MS講習会2024」（島津製作所殿町事業所&川崎生命科学・環境研究センター、9月24日～26日）、第29回特別講演会・見学会（東京都農林水産振興財団・農業総合研究センター、7月4日）、第30回特別講演会・見学会（島津製作所本社&島津創業記念資料館、12月16日）、LC- & LC/MS-DAYS 2024（東レ総合研修センター、11月28日・29日）、第3回LCシニアクラブ（東レ総合研修センター、11月30日・12月1日、LC懇後援）、第30回LC & LC/MSテクノプラザ（大田区産業プラザPiO、1月15日・16日）を主催した。電子ジャーナル『LCとLC/MSの知恵』の第8号（6月15日発行）、第9号（12月15日発行）をホームページに掲載した。『第5回LC/MS分析士初段試験解説書』（9月13日発行）、『第5回LC/MS分析士二段試験解説書』（2月20日発行）を（株）双文社印刷より発行した。また、下記6種類の日本分析化学会・分析士認証試験を対面形式で実施した：LC三段、LC二段、LC初段、LC/MS三段、LC/MS二段、LC/MS初段（LC五段、LC四段、LC/MS五段、LC/MS四段は受験者なし）。さらに、第84回分析化学討論会の初日（5月18日、京都工芸繊維大学）に開催された第21回生涯分析談話会、ならびに分析化学会第73年会（名古屋工業大学）の初日（9月11日）夕刻に開催された第22回記念生涯分析談話会をそれぞれ協賛した。そのほか、第17回千葉県分析化学交流会（1月29日、千葉市生涯学習センター）、第2回分析士会特別講演会・見学会（ブルカー・ジャパン横浜事業所、2月6日）を協賛した。

⑦化学センサー研究懇談会

【委員長：久本秀明（大阪公立大学）、会員数45名（個人会員45名）】第73年会において化学センサー研究懇談会講演を行った（9月11日、名古屋工業大学）。東北大学の伊野浩介先生に講演をお願いし、「電気化学センサを搭載した生体模倣システム」を拝聴した。多くの参加者があり、議論も盛況であった。

⑧電気泳動分析研究懇談会

【委員長：北川慎也（名古屋工業大学）、顧問7名、常任委員6名、委員32名】第73年会において研究懇談会講演（「マイクロ流体デバイスを利用した分析・診断・合成」渡慶次先生（北大））を行った（9月11日、名古屋）。第44回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2024、10月、北大）を共催した。電気泳動分析懇談会賞（寺部茂賞）の表彰を行った。第11回寺部茂賞は名古屋工業大学北川慎也教授に授与された。

⑨イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：森 勝伸（高知大学理工学部）、運営委員会委員21名、会員数76名（個人会員69名、維持会員6社、団体会員1社）】運営委員会を1回（年会開催期間中）開催した。講演会を1名（年会会期中（9月13日、名古屋工業大学）開催した。分析士（初段）をリモート試験で開催した（1月27日）。分析士認証委員会を開催した（2025年1月31日）。

⑩フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長：大平慎一（熊本大学）、運営委員会委員26名、会員数118名（個人会員101名、賛助会員9社、特別賛助会員8社）】講演会を2回（年会会期中、9月12日、名古屋工業大学）、第60回FIA講演会（11月13日、金沢工業大学扇が丘キャンパス）を開催したほか、Journal of Flow Injection

Analysis 誌の発行(41巻1~2号)およびそのための編集委員会を2回(5月(京都工芸繊維大学)と11月(金沢工業大学)),また褒賞委員会を1回(9月,名古屋工業大学)開催した。

⑪環境分析研究懇談会

【委員長:梅村知也(東京薬科大学),運営委員8名,顧問7名,会員数73名(個人会員70名,グループ会員3名)】5月28日に日本学術会議講堂にて開催された第36回環境工学連合講演会の実行委員として運営の一端を担った。第73年会において,環境分析研究懇談会講演会(9月13日,名工大,講演1件)を開催した。また,同日に運営委員会も開催して会員拡充と今後の活動について議論した。

⑫表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長:安井明美((元)国研)農業・食品産業技術総合研究機構),運営委員会委員15名,参与4名,個人会員41名,団体会員12社】9月12日に第73年会において表示・起源分析技術研究懇談会講演を1件,2月13日に第30回講演会を環境分析研究懇談会との合同で対面にて開催した。運営委員会はオンラインにて4月に1回開催した。

⑬化学分析技能研究懇談会

【委員長:上本道久(明星大学),会計担当:上原伸夫(宇都宮大学),運営委員会委員8名,会員数13名(個人会員のみのみ)】当研究懇談会のニュースレターを創刊し,第1号(8月)第2号(2月)の2回発行した。第73年会で本懇談会講演を行い,同日に運営委員会を開催して会員拡充と今後の活動について議論した。懇談会講演の資料を会員に配布して化学分析情報の普及を図っている。。

⑭熱分析研究懇談会

【委員長:西本右子(神奈川大学),運営委員会委員9名,個人会員19名,団体会員8社】対面で第6回熱分析討論会を1月29日に開催(参加者計26名,発表15件,企業紹介5社)した。運営委員長阿部陽香(産総研),その他運営委員会を開催した。

⑮溶液反応化学研究懇談会

【委員長:梅林泰宏(新潟大学),運営委員会委員18名,会員数18名(個人会員18名,賛助会員0名)】9月13日の第73年会(名古屋工業大学)で,講演会および運営委員会を開催した。

⑯電気分析化学研究懇談会

【委員長:前田耕治(京都工芸繊維大学,年会まで),安川智之(兵庫県立大学,年会以降),運営委員会委員40名】京都工芸繊維大学で開催された第84回分析化学討論会にて討論主題「生命の活動を知る分析化学」を立てて依頼講演5件および一般講演2件の討論主題講演を実施した。また,名古屋工業大学で開催された第73年会では,片野肇氏(福井県立大学),高橋康史氏(名古屋大学)の2件の依頼講演を行い,活発な質疑が行われた。また,現地で運営委員会を開催した。ここで,運営委員長を前田氏(京都工芸大)から安川氏(兵庫県立大)に,副委員長を丹羽氏(埼玉工業大学)から南氏(東京大学)に交代した。昨年度,議論した新規運営委員の候補者の中から6名に運営委員をご担当いただくこととなった。顧問であった大塚氏,加納氏,末永氏が退任となった。次年度の第85回分析化学討論会(愛媛大学)では討論主題の公募がないため,74年会(北海道大学)での依頼講演について議論した。

⑰ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

【委員長:渡慶次学(北海道大学),副委員長:火原彰秀(東北大学),会員数:約30名(個人会員のみのみ)】第73年会(名古屋工業大学)にて,9月12日に研究懇談会講演会を開催した。また,同学会中(9月12日)に運営委員会を開催し,今後の活動や運営体制について議論した。Pittcon 2025(Boston)にて,PAI-NET Contributed Session「New Detection Methods for Bio-Related Substances」(3月4日)に協力した。

⑱バイオ分析化学研究懇談会

【委員長:佐藤守俊(東京大学),運営委員会委員11名,顧問2名,会員数14名(個人会員14名,賛助会員0名)】第12回Chem-Bio Joint Seminar@仙台を研究懇談会役員メンバーで立ち上げる別組織の主催行事として8月26日・27日に開催した。さらに,第73年会における研究懇談会講演会へ参加

し,同学会中(9月12日)に運営委員会を開催し,運営方針や今後の活動などを話し合った。

⑲スクリーニング分析研究懇談会

【委員長:津越敬寿(産業技術総合研究所),運営委員会委員9名,会員数14名(個人会員11名,団体会員3名)】年2回の講演会(第9回講演会を9月13日の第73年会において,第10回講演会を1月31日に(公社)日本化学会・化学会館において開催した。また,第10回講演会に先立ち運営委員会を開催し,来期の運営方針や活動内容について意見交換を行った。

[支部]

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員を選任

支部長	坂入 正敏			
副支部長	南 尚嗣	(木村)須田廣美		
参与	伊藤 慎二	伊藤八十男	片山 則昭	
監事	蠣崎 悌司	渡慶次 学		
庶務幹事	佐藤 久	谷 博文		
会計幹事	山田 幸司	真栄城正寿		
幹事	青柳 直樹	池田 敦子	石田 晃彦	
今枝 佳祐	上野 貢生	宇都 正幸	大木 淳之	
大津 直史	岡 征子	奥田 弥生	川口 俊一	
菅 正彦	工藤 英博	齋藤 徹	堺井 亮介	
佐々木隆浩	真田 哲也	高瀬 舞	高橋 徹	
田原るり子	千葉 真弘	徳光 藍	富田 恵一	
中田 耕	中谷 暢丈	西村 一彦	沼田ゆかり	
古崎 睦	松井 宏之	三浦 篤志	三原 義広	
村井 毅	諸角 達也	吉村 昭毅	龍崎 奏	
若杉 郷臣				

②研究発表会

- 1) 夏季研究発表会(共催):7月20日,一般講演74件,特別講演2件(参加者107名)。また,懇親会を行った(41名)。
- 2) 化学教育研究協議会(共催)(ハイブリッド):11月9日,北海道教育大学サテライトキャンパス(札幌市)開催,特別講演1件,化学教育の小中高大学における実践についての講演4件,自由討論を行った(参加者53名)。また,懇親会を行った。
- 3) 冬季研究発表会(共催):1月21日・22日。北海道大学学術交流会館(札幌市)開催,研究発表123件(口頭60件,ポスター63件),特別講演1件(参加者289名)。また,懇親会を行った。

③セミナー

- 1) 第40回分析化学緑陰セミナー:7月13日・14日,ほろしん温泉ほたる館(沼田町),招待講演3件,学生によるポスター発表22件を行った。(参加者45名)
- 2) 2024年公開セミナー:12月3日,旭川工業高等専門学校開催,特別講演1件を行った(参加者100名)。
- 3) 第60回氷雪セミナー:1月1日オンライン,特別講演3件(参加者17名)を行った。

④交流事業

7月26日・27日サンブラザ天文館および温泉ホテル中原別荘(鹿児島県鹿児島市)第37回若手研究講演会および第4回夏季セミナーに若手研究者を1名派遣した。

⑤支部ニュースの発行

【東北支部】

①役員を選任

支部長	大江 知行			
副支部長	珠玖 仁	高貝 慶隆		
参与	秋葉 健一	大関 邦夫	大類 洋	
尾形 健明	荻野 博	長 哲郎	後藤 順一	
斎藤 紘一	佐藤 允美	糠塚いそし	星野 仁	
山崎 慎一	四ツ柳隆夫			
監事	西澤 精一	藤村 務		
庶務幹事	伊野 浩介			
会計幹事	李 宣和			
幹事	赤坂 和昭	壹岐 伸彦	石川大太郎	
伊藤 徹二	井上 賢一	岩田 吉弘	遠藤 昌敏	
大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克	尾高 雅文	

加藤 健	上條 利夫	唐島田龍之介	菊地 洋一
菊池美保子	北川 文彦	熊谷 将吾	斎藤昇太郎
佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	猿渡 英之
志村 清仁	将司 博文	田副 博文	多田 美香
寺前 紀夫	杉井 教文	長峯 邦明	仲川 清隆
沼田 靖	野原 幸男	橋本 隆光	幡川 祐資
比嘉 勝孝	平野 愛弓	平山 和雄	福山 真央
末永 智一	松枝 誠	三浦 拓也	松村 洋寿
眞野 成康	盛田 伸一	山田 理恵	和久井喜人
渡辺 竜	渡辺 健一	渡辺 忠一	

②研究発表会

令和6年度化学系学協会東北大会（共催）（主催：日本化学会東北支部）：9月14日・15日に開催され（会場：秋田大学手形キャンパス）、分析化学・環境化学セッションでは、招待講演2件、依頼講演1件が行われた。

③講演会・セミナー

- 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー（主催）：3月23日に開催し（会場：東北大学総合研究棟）、特別講演2件が行われた（参加者27名）。
- 2) 令和6年度日本分析化学会東北支部若手交流会（主催）：6月28日・29日に開催し（会場：秋保温泉ホテル華乃湯）、特別講演1件、招待講演3件、学生依頼講演2件、ポスター発表27件が行われた（参加者47名）。また、優秀ポスター賞4件を授与した。
- 3) 第12回Chem-Bio Joint Seminar 2024（共催）：8月26日・27日に開催し（会場：東北大学大学院理学研究科合同C棟）、招待講演6件、若手ポスター発表43件が行われた。また、優秀なポスター発表6件に対して、優秀ポスター賞を授与した。
- 4) みちのく分析科学シンポジウム（主催）：7月20日に開催し（会場：東北大学総合研究棟）、依頼講演2件、若手ポスター発表27件が行われた（参加者65名）。また、優秀なポスター発表5件に対して、フロンティア・ラボ賞を授与した。
- 5) 東北支部各賞受賞講演会（主催）：12月14日、東北分析化学賞受賞と東北分析化学奨励賞の授賞式と受賞講演会を開催した（会場：東北大学総合研究棟）。東北分析化学奨励賞：佐藤雄介君（東北大院理）、澤村瞭太君（東北大院環境）。

④助成

公募したが2024年度は該当者なし。

【関東支部】

①役員を選任

支部長	四宮 一総		
次期支部長	菅原 一晴		
副支部長	敷野 修	平山 直紀	宮下 隆
参 与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男
小熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一
澤田 清	渋川 雅美	杉谷 嘉則	鈴木 康志
高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	津越 敬寿
角田 欣一	中込 和哉	中村 洋	二瓶 好正
丹羽 修	早下 隆士	平井 昭司	藤浪 眞紀
保母 敏行	本田 俊哉	前田 瑞夫	宮村 一夫
望月 直樹	安田 純子	矢野 良子	山崎 素直
山根 兵	山本 博之		
監 事	津越 敬寿	安田 純子	
常任幹事	青木 寛	板橋 大輔	伊藤 彰英
稲川 有徳	植田 郁生	上野 祐子	梅林 泰宏
岡村 浩之	勝又 啓一	桑田 啓子	坂元 秀之
島田亜佐子	東海林 敦	菅沼 こと	高橋由紀子
高橋 豊	豊田 太郎	中村 圭介	西垣 敦子
西島 喜明	沼子 千弥	古庄 義明	南 豪
山口 央			
支部幹事	吉川ひとみ	齋藤凜太郎	鈴木 悠希
田中 佑樹	半田友衣子	福原 学	南木 創
森田耕太郎			

②講習会・セミナー

- 1) 第44回分析化学基礎セミナー（無機分析編）－現場技術者の分析技術の基礎習得へ向けて－を7月9日・10日にオンライン形式で開催した（講演者11名、受講者34名）。

- 2) 第45回分析化学基礎セミナー（無機分析編）－現場技術者の分析技術の基礎習得へ向けて－を11月13日・14日にオンライン形式で開催した（講演者11名、受講者16名）。
- 3) 第14回分析化学の基本と安全セミナーを2月7日にオンライン形式で開催した（講演者7名、受講者11名）。

③講演会

- 1) ものづくり技術交流会2024～分析に役立つ基礎技術～：第84回分析化学討論会の関連行事として5月18日に開催（参加者のべ130名）、また、第73年会の関連行事として9月12日に開催した（参加者のべ130名）。それぞれ分析イノベーション交流会が主催、各討論会・年会実行委員会が共催となり、対面形式で展示交流会と講演会を行った。
- 2) 交流の輪を広げる分析イノベーションフォーラム：分析イノベーション交流会の主催により最先端科学・分析システム&ソリューション展（JASIS2024）の関連行事として9月6日に幕張メッセ国際会議場201会議室にて行った（参加者のべ80名）。
- 3) 新潟地区部会第37回研究発表会：関東支部・同新潟地区部会主催により11月1日に開催し、参加者は対面45名であった。支部長特別講演、受賞講演、口頭講演2件、ポスター発表12件、さらに若手賞1件およびポスター賞2件の授賞式が行われた。
- 4) 令和6年度関東支部若手交流会：関東支部若手の会主催、関東支部共催により11月22日・23日に益子館里山リゾートホテル（栃木県）にて行った（参加者59名）。特別講演1件、招待講演2件、依頼講演1件、日本分析化学会会長講話、学生依頼講演3件の他、ポスター発表29件が行われた。さらに、優秀ポスター賞3件の授賞式が行われた。
- 5) 第5回群馬・栃木分析技術交流会：日本分析化学会関東支部主催によりハイブリッド形式で12月6日に開催された。5件の講演が行われ、参加者数は、一般9名、学生13名であった。
- 6) 第18回茨城地区分析技術交流会：12月13日にザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県水戸市）にて開催した（参加者114名）。支部長講演に加え、2件の依頼講演が行われ、途中、協賛企業の展示（18社）とポスター発表47件（学生32件、一般15件）が行われた。学生3件、一般1件の優秀ポスター賞の表彰式を情報交換会にて行った。
- 7) 令和6年度分析イノベーション交流会：分析イノベーション交流会の主催により12月23日・24日に対面形式にて開催した（参加者数のべ230名）。討論主題として「生体・食品分析」、「環境分析」を設定し、展示交流会ならびに講演会が行われた。
- 8) 新世紀賞授賞式および講演会：1月20日に中央大学後楽園キャンパスとオンラインのハイブリッド形式で開催した（参加者数現地参加30名・オンライン11名）。新世紀賞受賞者は、相本道宏君（日本製鐵（株））、中島 秀君（東京都立大学）、新世紀新人賞受賞者は、森岡和大君（東京薬科大学）および柳澤華代君（日本原子力研究開発機構）である。
- 9) 第17回千葉県分析化学交流会：1月29日に千葉市生涯学習センター大研修室において、千葉県分析化学交流会主催、日本分析化学会関東支部、日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会協賛、日本分析化学会分析士会、日本化学会など11団体からの後援にて開催された。会長挨拶、支部長祝辞、講演9件および情報交換会が行われた。参加者は20名であった。

④支部ニュースの発行

関東支部ニュースVol. 34版を発行した。

【中部支部】

①役員を選任

支部長	倉光 英樹		
次期支部長	巽 広輔		
副支部長	片野 肇	高田 主岳	
顧問	板谷 芳京	一ノ木 進	井村 久則
上田 穰一	上田 一正	太田 清久	小谷 明
北川 邦行	酒井 忠雄	佐々木与志実	鈴木 正巳
田口 茂	柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄
永長 幸雄	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一

原 稔 三輪 智夫 参 与 遠田 浩司 馬場 嘉信	樋上 照男 山田 真吉 宇野 文二 中田 隆二	平出 正孝 山寺 秀雄 竹内 豊英 波多 宣子	舟橋 重信 湯地 昭夫 田中 智一 服部 敏明
監 事 庶務幹事 会計幹事 常任幹事 甲斐 穂高 巽 広輔 湯川 博 幹 事 伊藤 雅章 加藤 亮 北出 和久 斎藤 隆起 立石 一希 古川 真衣 宗兼 将之 吉田 佳宏	江坂 幸宏 佐澤 和人 間中 淳 石田 康行 加賀谷重浩 西山 嘉男 青木賢一郎 奥山 修司 金子 聡 木全 良 柴田 信行 轟木堅一郎 松宮 弘明 森 敦 四津 佳伸	長谷川 浩 高橋 史樹 植松 宏平 植松 宏平 北川 慎也 村上 博哉 伊神 裕善 香川 信之 菅野 憲 金 継業 鈴木 保任 永谷 広久 御子柴正明 安井 孝志 リムリーワ	太田 一徳 栗原 誠 山本 拓平 石松 亮一 勝又 英之 儀賀 義勝 後反 克典 高橋 史樹 丹羽 敏之 三添 英明 山腰 亮子

②講演会

- 1) 北陸地区講演会(福井地区):7月12日,福井大学総合研究棟I総大1教室で開催,講演3件を行った(参加者30名)。
- 2) 三重地区講演会:9月25日,三重大学工学部16番教室で開催,講演2件を行った(参加者25名)。

③セミナー

- 1) 「第41回分析化学中部夏期セミナー」:8月29日・30日,富山県富山市『ゆーとりあ越中』で開催,招待講演2件,若手依頼講演1件,ポスター発表39件,企業新製品紹介講演3件を行った(参加者73名)。
- 2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第24回高山フォーラム:11月8日・9日,「高山市民文化会館」および「御宿四反田」で開催,口頭講演5件,研究室紹介,ポスター発表41件を行った(参加者59名)。

【近畿支部】

①役員を選任

支 部 長 次期支部長 副支部長 庶務幹事 会計幹事 参 与 大塚 浩二 木原 壯林 小島 次雄 谷口 一雄 萩中 淳 八尾 俊男 常任幹事 椎木 弘 許 岩 下条晃司郎 幹 事 石切山一彦 河野 慎一 高木 一好 川上奈津子 川元 達彦 倉内 奈美 小林 典裕 作花 哲夫 杉山 雅人 砂山 博文 宋和 慶盛 菱田 尚子 谷水 雅治	山本 雅博 森内 隆代 堀田 弘樹 岩月 聡史 宇田 亮子 荒川 隆一 尾崎 幸洋 木村 恵一 佐伯 正夫 千熊 正彦 藤田 芳一 横井 邦彦 大城 敬人 北隅 優希 河野 七瀬 金尾 英佑 青山 佳弘 石濱 泰 上田 啓太 小山 宗孝 川崎 英也 北山 紗織 桑本 恵子 小林 宏資 下山 昌彦 鈴江 崇彦 諏訪 雅頼 高木 達也 武上 茂彦 茶山 健二	岡本 行広 山口 敬子 池田 篤治 垣内 隆 木村 優 澁谷 康彦 寺部 茂 藤原 英明 渡會 仁 駒谷慎太郎 中島 陽一 山本 茂樹 浅川 大地 磯尾賢太郎 遠藤 達郎 糟野 潤 川田 武史 木村 敦臣 小池 亮 坂本 英文 白井 理 鈴木 哲 瀬戸 康雄 高野祥太郎 竹田さほり 塚越 一彦	大塚 利行 加納 健司 紀本 岳志 田中 稔 中原 武利 松下 隆之 外間 進悟 平原 将也 久保 拓也 飯田 琢也 伊藤 滋之 奥田 浩子 門 晋平 杉山 彩代 久保聖公二 小島 順子 佐々木隆之 杉原 崇康 鈴木 雅登 宗林 由樹 高橋 弘樹 谷田 肇 塚原 聡
--	---	--	---

塚本 効司 坪井 泰之 床波 志保 中澤 隆 中山 茂吉 萩森 政頼 東 昇 藤森 啓一 堀山志朱代 松本 明弘 宮崎 哲男 村松 康司 矢嶋 撰子 山口 英一 渡邊 誠也	辻 幸一 天満 敬 豊田 岐聡 中田 靖 西 直哉 橋田紳乃介 久本 秀明 藤原 学 本間 秀和 丸尾 雅啓 宮道 隆 森澤 勇介 安井 裕之 山根 常幸	壺井 基裕 鳥羽真由子 永井 秀典 中原 佳夫 西尾 友志 長谷川 健 藤居 義和 布施 泰朗 前田 耕治 三木功次郎 向井 浩 森田 成昭 安川 智之 山本佐知雄	角井 伸次 土井 光暢 中口 讓 中村 稔雅 野田 達夫 張野 宏也 藤嶽 暢英 細矢 憲 牧 輝弥 三戸彩絵子 村上 正裕 八木 正浩 山垣 亮 吉田 裕美
--	--	---	--

②講演会

- 1) 第19回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会:3月15日,対面とオンラインのハイブリッド開催,表彰・受賞講演1件を行った。
- 2) 第1回支部講演会:4月5日,対面とオンラインのハイブリッド開催,講演2件を行った。
- 3) 第2回支部講演会:7月19日,対面とオンラインのハイブリッド開催,講演2件を行った。
- 4) 第3回支部講演会:12月5日,対面とオンラインのハイブリッド開催,講演2件を行った。

③講習会

- 1) ぶんせき講習会・基礎編その1:5月10日,オンラインで開催,講義と講習を行った(受講者60名)。
- 2) ぶんせき講習会・基礎編その2:7月3日,島津製作所関西支社で開催,講義と実習を行った(受講者21名)。
- 3) ぶんせき講習会・実践編:8月2日,アットビジネスセンターPREMIUM新大阪(日本ウォーターズ)開催,講義と実習を行った(受講者3名)。

④セミナー

- 1) 第1回提案公募型セミナー:7月5日に京都工芸繊維大学にて開催(参加者65名)。
- 2) 第2回提案公募型セミナー:7月25日にSpring-8とオンラインにて開催(参加者71名)。
- 3) 第18回近畿支部若手夏季セミナー「ぶんせき秘帖巻ノ拾七」:8月5日から6日にかけてSORA RINKUにて開催(参加者60名)。

⑤支部ニュース

ぶんきんニュース第56号および第57号を発行。

⑥10年間中断していた近畿分析技術研究国際交流助成制度を復活し,5名の大学院生に支援を行った。

【中国四国支部】

①役員を選任

支 部 長 次期支部長 副支部長 支部参与 岩知道 正 善木 道雄 林 康久 北條 正司 本水 昌二 支部監事 庶務幹事 会計幹事 常任幹事 上田 忠治 北出 哲朗 竹田 一彦 西 博行 藤田 勉 藪谷 智規 支部幹事 荏部 甚一 菅原 庄吾	朝日 剛 高柳 俊夫 林 徹太郎 池田 早苗 奥村 稔 田頭 昭二 平田 静子 真鍋 敬 森田 秀芳 小園 修治 小崎 大輔 浅岡 聡 安達 健太 上田 真史 北山 宏三 田所 大典 原 哲也 森 勝伸 横山 崇 浅野 比 川村 邦男 竹内 政樹	伊藤 一明 木下 光夫 竹味 弘勝 廣川 健 宮田 晴夫 山崎 恒博 中山 雅晴 水口 仁志 石坂 昌司 金田 隆 座古 保 田中 秀治 平岡 章二 盛田啓一郎 吉村 友宏 井上 裕文 小松原恒生 竹永 史典	今井 嘉彦 熊丸 尚宏 中野 恵文 藤原 照文 本仲 純子 今井 昭二 紙谷 浩之 高田 智明 津村 徹 藤井 健太 森本 稔 片岡 洋行 島崎 洋次 武安 伸幸
--	--	---	--

寺川 敦哉	永阪 文惣	西本 潤	西脇 芳典
樋口 浩一	藤原 勇	淵脇 雄介	松原 弘樹
門木 秀幸	山下 浩	山本 剛	山本 孝
吉岡 徹	和田 光弘		

②研究発表会

- 1) 2024 年日本化学会中国四国支部大会：11 月 16 日・17 日，岡山大学（共催）。
- 2) プラズマ分光分析研究会 第 123 回講演会：10 月 25 日，JMS アステールプラザ・4 階会議室（共催）。

③講演会

- 1) 山口地区講演会：1 月 24 日，山口大学人文学部大講義室で講演 1 件を行った。
宇部・山陽小野田地区講演会：2024 年度は開催せず。
- 2) 愛媛地区講演会（第 2 回ナノ・プラズマバイオ研究会）：3 月 19 日，愛媛大学城北キャンパスひめテラス 1 階で，講演会を行った。
- 3) 徳島地区講演会（徳島化学工学懇話会と共催）：1 月 10 日，徳島大学理工学部工業会館で大学院生研究発表 2 件と特別講演 2 件を行った。
- 4) 鳥取地区講演会（鳥取総合分析研究懇話会と共催）：12 月 13 日，鳥取環境大学まちなかキャンパスにて講演 1 件，話題提供 2 件を行った。

④セミナー

- 1) 第 30 回中国四国支部分析化学若手セミナー：6 月 15 日，今治地域地場産業振興センターにて対面とオンラインのハイブリッド開催，特別講演 2 件，若手・一般講演，若手ポスター講演を行った。参加者 41 名（一般：16 名，学生：25 名）。

【九州支部】

①役員の選任

支 部 長	加地 範匡		
次期支部長	井倉 則之		
副支部長	宮崎真佐也	馬渡 和真	
支部参与	石黒 慎一	今坂藤太郎	今任 稔彦
岩崎 正武	鎌田 薩男	河津 博文	喜納 兼勇
黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔	下田 満哉
城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明
出口 俊雄	中島憲一郎	中村 博	肥後 盛秀
増田 義人	松本 清	山口 敏男	山口 政俊
山田 淳	横山 拓史	吉村 和久	脇田 久伸
監 査	井上 高教	浅田 泰	
庶務幹事	財津 慎一		
会計幹事	井手 幸子		
常任幹事	新垣 雄光	井倉 則之	大島 達也
栗崎 敏	佐藤しのぶ	佐藤 博	高椋 利幸
戸田 敬	浜瀬 健司	原田 明	藤ヶ谷剛彦
松尾 隆司	松森 信明		
幹 事	安藤 功	石岡 寿雄	石川 洋哉
稲田 幹	伊藤 圭亮	井原 敏博	宇都宮 聡
梅木 辰也	江藤真由美	王子田彰夫	大渡 啓介
大庭 義史	大平 慎一	恩田 健	片山 佳樹
加藤 祐子	梶島 力	梶島 正美	上畑桂太郎
川上 健次	川畑 明	神崎 亮	北村 裕介
岸川 直哉	木下 将和	栗原 龍	黒田 直敬
呉 行正	児玉谷 仁	佐藤 博	佐藤 正雄
佐野 洋	澤津橋徹哉	塩路 幸生	清水 陽一
白土 英樹	末田 慎二	鈴木 絢子	宗 伸明
北島 敏夫	竹中 繁織	高橋 浩司	高橋 幸奈
高橋 政孝	竹原 公	田中 充	手嶋 康介
天日 美薫	富永 昌人	鳥羽 陽	中島 常憲
中園 学	中武 貞文	中野 幸二	中村 沙織
中山 研一	新留 康郎	西田 正志	能田 均
能登 征美	野間 誠司	馬場 由成	巴山 忠
原口 浩一	原田 明	原田 雅章	藤井 清永
前田 明広	増田 寿伸	真瀬田幹生	又吉 直子
松井 利郎	松田 直樹	松本 篤彦	水城 圭司
満尾 良弘	満塩 勝	三宅 孝彰	村田 正治
森 健	安田みどり	山下 将一	横山さゆり
吉田 亨次	吉田 秀幸	吉田 祐一	吉留 俊史

②研究発表会

- 1) 第 61 回化学関連支部合同九州大会（共催）：6 月 29 日，北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表 4 件を「九州分析化学ポスター賞」として選出。

③講演会・セミナー

- 1) 第 37 回若手研究講演会および第 42 回夏季セミナー（主催）：7 月 26 日・27 日，対面形式で開催（参加登録者：79 名）。
- 2) 九州支部講演会・見学会（主催）：11 月 15 日，九州支部講演会を久留米リサーチ・パークで開催。

④講習会

- 1) 第 62 回分析化学講習会（主催）：8 月 7 日・9 日：福岡市産学連携交流センター，8 月 7 日～9 日：九州大学伊都キャンパス，8 月 6 日・7 日：九州大学馬出キャンパス，8 月 23 日：福岡大学理学部で開催。

⑤支部ニュース

- 1) 支部ニュース第 49 号（3 月）を発行。

令和6年度会計報告

貸借対照表

(令和7年2月28日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	130,299,410	123,034,685	7,264,725
売掛金	2,387,550	1,367,520	1,020,030
未収金	2,095,730	2,450,195	△ 354,465
棚卸資産	29,328,260	29,928,680	△ 600,420
貯蔵品	67,970	84,566	△ 16,596
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	2,470,274	2,493,410	△ 23,136
仮払金	0	432,400	△ 432,400
流動資産合計	166,849,114	159,991,376	6,857,738
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,867,366	22,854,892	12,474
標準物質開発基金	2,061,719	2,060,473	1,246
国際交流事業基金	27,311,754	30,300,603	△ 2,988,849
分析化学研究奨励基金	17,878,195	17,876,852	1,343
預り保証金引当預金	5,000,000	5,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	44,863,909	45,509,078	△ 645,169
特定資産合計	119,982,943	123,601,898	△ 3,618,955
(3) その他固定資産			
建物	7,792,469	8,159,654	△ 367,185
器具備品	111,571	223,133	△ 111,562
土地	30,607,799	30,607,799	0
ソフトウェア	0	140,490	△ 140,490
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	528,360	728,280	△ 199,920
その他固定資産合計	39,168,199	39,987,356	△ 819,157
固定資産合計	169,151,142	173,589,254	△ 4,438,112
資産合計	336,000,256	333,580,630	2,419,626
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,264,603	3,337,749	△ 1,073,146
前受会費	22,356,800	25,115,600	△ 2,758,800
前受購読料	1,488,000	1,228,200	259,800
前受金	701,500	622,000	79,500
預り金	1,830,339	487,492	1,342,847
仮受金	13,250	49,250	△ 36,000
賞与引当金	2,268,484	2,104,866	163,618
未払消費税等	357,800	1,807,300	△ 1,449,500
流動負債合計	31,280,776	34,752,457	△ 3,471,681
2. 固定負債			
退職給付引当金	54,031,339	49,107,334	4,924,005
預り保証金	5,000,000	5,000,000	0
固定負債合計	59,031,339	54,107,334	4,924,005
負債合計	90,312,115	88,859,791	1,452,324
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	245,688,141	244,720,839	967,302
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	245,688,141	244,720,839	967,302
負債及び正味財産合計	336,000,256	333,580,630	2,419,626

正味財産増減計算書

(令和6年3月1日～令和7年2月28日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	200	200	0
基本財産運用益	200	200	0
特定資産運用益	33,316	1,665	31,651
退職給付引当資産運用益	12,474	206	12,268
標準物質開発基金運用益	1,246	20	1,226
国際交流事業基金運用益	11,921	302	11,619
分析化学研究奨励基金運用益	695	417	278
支部研究懇談会特定預金運用益	6,980	720	6,260
受取入会金	151,000	149,000	2,000
受取会費	74,597,350	70,414,460	4,182,890
正会員会費	23,160,000	24,291,000	△ 1,131,000
学生会員会費	2,217,750	1,865,250	352,500
維持会員会費	14,643,300	14,586,600	56,700
特別会員会費	14,377,500	14,850,000	△ 472,500
公益会員会費	10,636,800	8,147,600	2,489,200
支部研究懇談会会費	7,006,000	6,669,510	336,490
シニア会員会費	2,556,000	4,500	2,551,500
事業収益	109,281,087	97,176,292	12,104,795
購読料収入	4,430,805	4,387,270	43,535
年会収入	18,682,342	16,610,100	2,072,242
討論会収入	20,860,500	16,580,400	4,280,100
講演会収入	10,179,318	9,233,324	945,994
講習会収入	12,298,720	9,355,720	2,943,000
研究懇談会収入	340,900	332,500	8,400
技能試験収入	2,431,000	3,229,380	△ 798,380
分析士事業収入	4,050,480	1,721,800	2,328,680
印税収入	704,389	506,267	198,122
教育ビデオ・DVD 頒布収入	88,000	525,800	△ 437,800
標準物質頒布収入	16,679,960	15,205,740	1,474,220
広告料収入	12,677,235	13,469,170	△ 791,935
別刷頒布収入	4,932,280	4,993,494	△ 61,214
複写権使用料収入	925,158	1,025,327	△ 100,169
受取補助金等	2,517,000	2,688,299	△ 171,299
受取国庫補助金	0	853,299	△ 853,299
受取民間補助金	2,467,000	1,785,000	682,000
受取自治体補助金	50,000	50,000	0
受取寄附金	26,000	0	26,000
受取寄附金	26,000	0	26,000
雑収益	695,285	1,039,900	△ 344,615
受取利息	72,829	27,056	45,773
雑収益	622,456	1,012,844	△ 390,388
経常収益計	187,301,238	171,469,816	15,831,422
(2)経常費用			
事業費	156,084,100	138,963,591	17,120,509
給料手当	32,000,443	18,705,521	13,294,922
臨時雇賃金	6,498,299	11,090,265	△ 4,591,966
退職給付費用	3,082,427	1,306,877	1,775,550
法定福利費	5,034,610	3,387,207	1,647,403
会議費	24,289,878	16,798,883	7,490,995
旅費交通費	8,129,491	7,158,898	970,593
通信運搬費	992,385	1,287,221	△ 294,836
減価償却費	597,206	819,379	△ 222,173
修繕費	1,330,560	1,338,797	△ 8,237
消耗品費	2,121,819	950,549	1,171,270
印刷製本費	17,360,450	17,330,614	29,836
光熱水料費	191,503	189,813	1,690
賃借料	12,013,705	12,551,236	△ 537,531
支払リース料	105,600	146,910	△ 41,310
保険料	2,510	7,915	△ 5,405

正味財産増減計算書

(令和6年3月1日～令和7年2月28日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
諸謝金	4,773,727	6,258,176	△ 1,484,449
租税公課	2,229,400	3,743,400	△ 1,514,000
支払負担金	538,679	366,325	172,354
支払助成金	580,000	510,000	70,000
委託費	31,094,400	32,304,363	△ 1,209,963
表彰費	2,295,783	1,908,391	387,392
雑費	821,225	802,851	18,374
管理費	30,249,836	34,757,054	△ 4,507,218
給料手当	7,564,347	13,802,728	△ 6,238,381
臨時雇賃金	879,247	1,858,113	△ 978,866
退職給付費用	1,841,578	780,786	1,060,792
法定福利費	2,583,054	2,934,805	△ 351,751
福利厚生費	30,095	310,000	△ 279,905
会議費	92,217	0	92,217
旅費交通費	1,138,620	495,774	642,846
通信運搬費	1,636,375	690,102	946,273
減価償却費	22,031	23,069	△ 1,038
修繕費	332,640	334,699	△ 2,059
消耗品費	242,658	329,511	△ 86,853
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	56,324	54,535	1,789
賃借料	89,716	618,090	△ 528,374
支払リース料	5,583,711	4,419,800	1,163,911
租税公課	1,700	6,850	△ 5,150
支払負担金	922,892	1,126,461	△ 203,569
委託費	6,492,789	6,662,431	△ 169,642
雑費	739,842	309,300	430,542
経常費用計	186,333,936	173,720,645	12,613,291
評価損益等調整前当期経常増減額	967,302	△ 2,250,829	3,218,131
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	967,302	△ 2,250,829	3,218,131
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	967,302	△ 2,250,829	3,218,131
一般正味財産期首残高	244,720,839	246,971,668	△ 2,250,829
一般正味財産期末残高	245,688,141	244,720,839	967,302
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
受取補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	△ 853,299	853,299
当期指定正味財産増減額	0	△ 853,299	853,299
指定正味財産期首残高	0	853,299	△ 853,299
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	245,688,141	244,720,839	967,302

正味財産増減計算書内訳表

(令和6年3月1日～令和7年2月28日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	200	0	200
基本財産運用益	0	200	0	200
特定資産運用益	19,596	13,720	0	33,316
退職給付引当資産運用益	0	12,474	0	12,474
標準物質開発基金運用益	0	1,246	0	1,246
国際交流事業基金運用益	11,921	0	0	11,921
分析化学研究奨励基金運用益	695	0	0	695
支部研究懇談会特定預金運用益	6,980	0	0	6,980
受取入会金	0	151,000	0	151,000
受取会費	61,079,080	13,518,270	0	74,597,350
正会員会費	18,528,000	4,632,000	0	23,160,000
学生会員会費	1,774,200	443,550	0	2,217,750
維持会員会費	11,714,640	2,928,660	0	14,643,300
特別会員会費	11,502,000	2,875,500	0	14,377,500
公益会員会費	8,509,440	2,127,360	0	10,636,800
支部研究懇談会会費	7,006,000	0	0	7,006,000
シニア会員会費	2,044,800	511,200	0	2,556,000
事業収益	87,424,872	21,856,215	0	109,281,087
購読料収入	3,544,644	886,161	0	4,430,805
年会収入	14,945,874	3,736,468	0	18,682,342
討論会収入	16,688,400	4,172,100	0	20,860,500
講演会収入	8,143,455	2,035,863	0	10,179,318
講習会収入	9,838,976	2,459,744	0	12,298,720
研究懇談会収入	272,720	68,180	0	340,900
技能試験収入	1,944,800	486,200	0	2,431,000
分析士事業収入	3,240,384	810,096	0	4,050,480
印税収入	563,512	140,877	0	704,389
教育ビデオ・DVD 頒布収入	70,400	17,600	0	88,000
標準物質頒布収入	13,343,968	3,335,992	0	16,679,960
広告料収入	10,141,788	2,535,447	0	12,677,235
別刷頒布収入	3,945,824	986,456	0	4,932,280
複写権使用料収入	740,127	185,031	0	925,158
受取補助金等	2,517,000	0	0	2,517,000
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	2,467,000	0	0	2,467,000
受取自治体補助金	50,000	0	0	50,000
受取寄附金	0	26,000	0	26,000
受取寄附金	0	26,000	0	26,000
雑収益	622,456	72,829	0	695,285
受取利息	0	72,829	0	72,829
雑収益	622,456	0	0	622,456
経常収益計	151,663,004	35,638,234	0	187,301,238
(2)経常費用				
事業費	156,084,100	0	0	156,084,100
給料手当	32,000,443	0	0	32,000,443
臨時雇賃金	6,498,299	0	0	6,498,299
退職給付費用	3,082,427	0	0	3,082,427
法定福利費	5,034,610	0	0	5,034,610
会議費	24,289,878	0	0	24,289,878
旅費交通費	8,129,491	0	0	8,129,491
通信運搬費	992,385	0	0	992,385
減価償却費	597,206	0	0	597,206
修繕費	1,330,560	0	0	1,330,560
消耗品費	2,121,819	0	0	2,121,819
印刷製本費	17,360,450	0	0	17,360,450
光熱水料費	191,503	0	0	191,503
賃借料	12,013,705	0	0	12,013,705
支払リース料	105,600	0	0	105,600
保険料	2,510	0	0	2,510
諸謝金	4,773,727	0	0	4,773,727
租税公課	2,229,400	0	0	2,229,400
支払負担金	538,679	0	0	538,679
支払助成金	580,000	0	0	580,000
委託費	31,094,400	0	0	31,094,400

正味財産増減計算書内訳表

(令和6年3月1日～令和7年2月28日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
表彰費	2,295,783	0	0	2,295,783
雑費	821,225	0	0	821,225
管理費	0	30,249,836	0	30,249,836
給料手当	0	7,564,347	0	7,564,347
臨時雇賃金	0	879,247	0	879,247
退職給付費用	0	1,841,578	0	1,841,578
法定福利費	0	2,583,054	0	2,583,054
福利厚生費	0	30,095	0	30,095
会議費	0	92,217	0	92,217
旅費交通費	0	1,138,620	0	1,138,620
通信運搬費	0	1,636,375	0	1,636,375
減価償却費	0	22,031	0	22,031
修繕費	0	332,640	0	332,640
消耗品費	0	242,658	0	242,658
印刷製本費	0	0	0	0
光熱水料費	0	56,324	0	56,324
賃借料	0	89,716	0	89,716
支払リース料	0	5,583,711	0	5,583,711
租税公課	0	1,700	0	1,700
支払負担金	0	922,892	0	922,892
委託費	0	6,492,789	0	6,492,789
雑費	0	739,842	0	739,842
経常費用計	156,084,100	30,249,836	0	186,333,936
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,421,096	5,388,398	0	967,302
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,421,096	5,388,398	0	967,302
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,421,096	5,388,398	0	967,302
一般正味財産期首残高	141,206,848	103,513,991	0	244,720,839
一般正味財産期末残高	136,785,752	108,902,389	0	245,688,141
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	136,785,752	108,902,389	0	245,688,141

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)
器具備品…定率法を採用している。
無形固定資産
ソフトウェア…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,854,892	12,474	0	22,867,366
標準物質開発基金	2,060,473	1,246	0	2,061,719
国際交流事業基金	30,300,603	20,011,921	23,000,770	27,311,754
分析化学研究奨励基金	17,876,852	17,878,890	17,877,547	17,878,195
預り保証金引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
支部研究懇談会特定預金	45,509,078	7,180	652,349	44,863,909
小 計	123,601,898	37,911,711	41,530,666	119,982,943
合 計	133,601,898	37,911,711	41,530,666	129,982,943

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	-	(10,000,000)	-
小 計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	22,867,366	-	-	(22,867,366)
標準物質開発基金	2,061,719	-	(2,061,719)	-
国際交流事業基金	27,311,754	-	(27,311,754)	-
分析化学研究奨励基金	17,878,195	-	(17,878,195)	-
預り保証金引当預金	5,000,000	-	-	(5,000,000)
支部研究懇談会特定預金	44,863,909	-	(44,863,909)	-
小 計	119,982,943	-	(92,115,577)	(27,867,366)
合 計	129,982,943	-	(102,115,577)	(27,867,366)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	57,522,500	49,730,031	7,792,469
器具備品	6,008,905	5,897,334	111,571
ソフトウェア	1,204,200	1,204,200	0
合 計	64,735,605	56,831,565	7,904,040

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘柄	取得価額	期末日時価	評価損益
SBIホールディングス株式会社 第39回無担保社債	37,800,000	37,259,460	△ 540,540
合計	37,800,000	37,259,460	△ 540,540

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	0	0	0	0	指定正味財産
自治体補助金	高山市	0	50,000	50,000	0	-
民間補助金	大塚電子等	0	2,467,000	2,467,000	0	-
合計		0	2,517,000	2,517,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 当期において、指定正味財産から一般正味財産への振替はありません。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,104,866	2,268,484	2,104,866	0	2,268,484
退職給付引当金	49,107,334	4,924,005	0	0	54,031,339

財 産 目 録

(令和7年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として(本部現金126,982円)	1,317,797
預金	預金合計		128,981,613
	普通預金		29,496,619
	三井住友銀行五反田支店	本部	17,337,651
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	1,183,549
	三井住友銀行新宿通支店	本部	1,417,166
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	204,061
	みずほ銀行五反田支店	本部	1,713,300
	三井住友信託銀行芝営業部	本部	172,173
	山陰合同銀行島大前支店	若手交流会	3,085
	GMOあおぞらネット銀行 法人第二営業部	第74年会	1,207,967
	GMOあおぞらネット銀行 法人第二営業部	第85回分析化学討論会実行委員会	3,257,667
	GMOあおぞらネット銀行 法人第二営業部	アジア分析科学会議	3,000,000
	支部/普通預金		39,441,036
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	2,762,486
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	6,844,780
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	3,519,447
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	6,050,234
	三井住友銀行名古屋支店	中部支部	1,615,731
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	6,373,683
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	3,330,035
	広島銀行西条支店	中国四国支部	8,944,640
	研究懇談会/普通預金		37,440,211
	みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	531,694
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	3,260,886
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	929,475
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	12,809,049
	りそな銀行五反田支店	高分子分析討論会	5,747,861
	七十七銀行本店営業部	分析試薬研究懇談会	589,977
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,667,289
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	6,375,660
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	744,209
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	298,629
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	2,444,045
	肥後銀行子飼橋支店	フローインジェクション分析研究懇談会	962,997
	三菱UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	517,993
	足利銀行宇都宮東支店	化学分析技能研究懇談会	115,152
	みなと銀行龍野支店	電気分析化学研究懇談会	13,538
	みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	111,990
	三菱UFJ銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	319,767
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		13,756,623
		近畿支部	1,249,395
		九州支部	8,340,953
		溶液反応化学研究懇談会	53,009
		有機微量分析研究懇談会	2,773,971
		X線分析研究懇談会	857,048
		化学センサー研究懇談会	112,616
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	154,022
		ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	215,609
	ゆうちょ銀行(振替口座)	運営資金として	7,041,047
		本部	3,636,856
		環境分析研究懇談会	676,837
		有機微量分析研究懇談会	33,016
		フローインジェクション分析研究懇談会	620,457
		表示・起源分析技術研究懇談会	2,073,881
	定期預金		1,806,077
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	506,077
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000

財 産 目 録

(令和7年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	2,387,550
未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷	2,095,730
前払金	討論会・年会実行委員会他		2,470,274
年会		第74年会	792,033
その他		業者委託費	1,678,241
棚卸資産	会誌/標準物質/教育DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	29,328,260
標準物質			23,759,788
DVD			1,833,100
分析士解説書			3,727,989
その他			7,383
貯蔵品	切手, 印紙, はがき等	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	67,970
一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
流動資産合計			166,849,114
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
特定資産			10,000,000
退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	22,867,366
普通預金	みずほ銀行五反田支店		22,867,366
標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用	2,061,719
普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,061,719
預り保証金引当預金			5,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり、運用益を本事業の財源として使用	5,000,000
国際交流事業基金		研究会事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用	27,311,754
普通預金	三井住友銀行五反田支店		7,311,754
社債	SBIホールディングス	第39回無担保社債	20,000,000
分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり、運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	17,878,195
社債	SBIホールディングス	第39回無担保社債	17,800,000
普通預金	大和ネクスト銀行		78,195
支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用	44,863,909
普通預金	七十七銀行大学病院前支店	東北支部企画基金	1,498,169
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部活性化基金	3,020,235
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	690,177
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	1,851,252
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,623,511
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会国際会議	3,431,180
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会技術論文	338,274
定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	11,660,868
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	13,024,086
	ゆうちょ銀行	X線分析研究懇談会	3,326,112
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,400,045
その他			
固定資産			
建物	220.4 m ² 東京都品川区西五反田		7,792,469
器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用	111,571
土地	30.22 m ² 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の管理業務で使用している	30,607,799
電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		528,360
固定資産合計			169,151,142
資産合計			336,000,256

財 産 目 録

(令和7年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)			
未払金	いであ他	標準物質管理業務に対する未払額など	2,264,603
前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	22,356,800
前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	701,500
前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	1,488,000
預り金	所得税 社会保険料等		1,830,339
健康保険料			150,310
厚生年金保険料			261,690
源泉所得税			4,872
住民税			155,800
討論会		第85回分析化学討論会	1,257,667
仮受金			13,250
賞与引当金	職員の夏期賞与	職員の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,268,484
未払消費税等			357,800
流動負債合計			31,280,776
(固定負債)			
退職給付引当金	職員4名の退職金	職員の退職金の支払いに備えたもの	54,031,339
預り保証金	(株)明報社	会誌広告に関して受け入れたもの	5,000,000
固定負債合計			59,031,339
負 債 合 計			90,312,115
正 味 財 産			245,688,141



監事監査報告書

公益社団法人日本分析化学会

会長 山本 博之 殿

令和7年3月26日

公益社団法人日本分析化学会

監事 宮野 博 
監事 長谷川 建 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の令和6年3月1日から令和7年2月29日までの令和6年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第7条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、令和6年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、当公益社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- 四、引き続き財政状況を注視するとともに、綿密な会員管理と会員（個人・団体）の減少を抑制する対策に引き続き実行することを望みたい。

以上

2025年度（令和7年度）事業計画書

（令和7年3月1日～令和8年2月28日）

1. 定時総会の開催（定款第17条）

第14回定時総会を下記のとおり行う。

日時 令和7年4月25日（金）14時より

場所 Web会議

参加予定者数114人。

2. 会誌、研究報告および資料の刊行（定款第5条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2025年第3号～2026年第2号 毎月1回、5日に発行（各号A4判、100ページ）。電子版発行（すべての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行）

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第74巻第3号～第12号を7回、および第75巻第1号と2号の合併号を2026年1月に、それぞれ5日に発行（各号A4判、90ページ）発行部数1,800

③英文論文誌「Analytical Sciences」をSpringer Nature社から下記のとおり発行する。

Vol. 41 No. 3～Vol. 42 No. 2を毎月1回発行 Vol. 40 No. 3～Vol. 41 No. 2を毎月1回発行

④学会、ぶんせき、分析化学、Anal. Sci. 4種のメールマガジンを発行する。

3. 講演会および研究会の開催（定款第5条（2））

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

〔研究発表会〕

①第85回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時 令和7年5月31日（土）・6月1日（日）

場所 愛媛大学 参加予定者数600人

②第74年会を下記のとおり行う。

日時 令和7年9月24日（水）～26日（金）

場所 北海道大学 参加予定者数1,000人

③ASIANALYSIS XVIIを第74年会開催にあわせ下記のとおり行う。

日時 令和7年9月23日（火）～26日（金）

場所 北海道大学 参加予定者数300人

④交流の輪を広げる分析イノベーションフォーラム

日時 令和7年9月 JASIS展に併せて開催

場所 千葉

4. 調査、研究および建議（定款第5条（3））

〔技能試験〕参加予定試験所数：合計50試験所

①ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

ダイオキシン類分析技能試験（ばいじん） 50試験所

②KMLTエッジテック（株）の技能試験「規制物質の無機分析試験」に対する諮問機関として書類審査業務を行う。

〔標準物質〕

新標準物質は作製せず、これまで開発してきた各種標準物質の安定性試験と再認証を必要に応じて行い、社会への供給活動を継続する。

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条（4））

①学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、本部委員会功労賞、「分析化学」論文賞、先端分析技術賞ならびに女性Analyst賞を下記のとおり表彰する。

学会賞（3名以内）、学会功労賞（5名以内）、技術功績賞（3名以内）、奨励賞（5名以内）、有功賞（50名程度）、本部委員会功労賞（10名程度）、「分析化学」論文賞（2編以内）、先端分析技術賞（2名以内）、女性Analyst賞（2名以内）

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条（5））

①ホームページ・メールマガジンによる会員への情報発信を強

化する。

②本会の広報活動として、各種展示、分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および報道関係者への連絡などを行う。

③若手交流会の活動を次のとおり行う。

・各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。

・分析化学討論会および年会において若手ポスター賞選考を行う。

④分析士認証活動については、液体クロマトグラフィー研究懇談会およびイオンクロマトグラフィー研究懇談会の項にて述べる。分析士会を開催して講演会などの活動を行う。

7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

委員会を2回、第92回有機微量分析研究懇談会シンポジウム（計測自動制御学会・力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）を6月に東京都港区（北里大学）、講演会（第74年会会期中）、マイクロ電子天びん技術研修会（1回）、マイクロ電子天びんオンラインセミナー（座学オンライン、1回）を開催するほか会報第27号（2026年2月）を発行する。ホームページを順次更新し、内容の充実を図る。また標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行う。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回、特別講演会、見学会、講習会（実習付含む）を開催する。例会の中で基礎講座を開催する（受講証を発行）。情報交換の場として参加者が資料提供するスペースを設ける。年会で特別講演会を開催する。本部運営となった日中韓シンポジウムの開催に協力する。GC研究会開催400回記念事業として表彰、特別講演などの企画を進める。研究懇談会活動の過去記録、講演会資料などをホームページで公開するなど更にホームページを充実させる。運営委員会をWeb併用して開催する。

③高分子分析研究懇談会

例会を5回（うち1回は夏季合宿）、年会時に講演会を開催、高分子分析技術講習会を2回（前期：基礎編、後期：実践編）、第30回高分子分析討論会を11月19日・20日に明治大学駿河台校舎アカデミーコモンで開催する。

④X線分析研究懇談会

例会を2回（うち1回は年会時に開催）と第61回X線分析討論会（10月30日・31日、2日間、水戸市民会館）を開催し、「X線分析の進歩」誌（第56集）を出版する。運営委員会は年に2回開催する。第19回浅田賞、および、第2回「X線分析の進歩」論文賞の選考・授与を行う。

⑤分析試薬研究懇談会

第74年会で懇談会講演会と幹事会を開催する。また、第19回大環状分子及び超分子化学国際会議（協賛、ロームシアター京都、5月25日～30日）および第22回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム（共催、東京大学、6月7日・8日）で招待講演を開催する。

⑥液体クロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を11回、例会を12回（うち1回は年会時に開催）、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、「HPLC & LC/MS 講習会 2025」（7月）、「LC- & LC/MS-DAYS 2025」（11月または12月）、「第31回LC & LC/MSテクノプラザ」（1月）を開催する。「LC & LC/MS用語辞典」、「第5回LC/MS分析士三段試験解説書（30冊目）」の出版に向け、それぞれ査読会を3月、4月、8月に実施する。第85回分析化学討論会（愛媛大学）にリンクして開催される第22回生涯分析談話会、第74年会（北海道大学）の前日に開催される第23回生涯分析談話会をそれぞれ後援する。LC分析士、LC/MS分析士の認証試験（各5回）に対する認証専門委員会を構成し、それぞれ試験を実施する。

⑦化学センサー研究懇談会

北海道大学での第74年会会期中に研究懇談会講演会を開催する。今回はASIANALYSISが同時開催のため、プログラムの連携を検討する。また化学センサー関連学会など、関連情報の情報交換を行う。その他、女性Analyst賞の推薦など、メール審議および承認を行う。

- ⑧電気泳動分析研究懇談会
講演会を1回(分析化学会年會期間中)開催するほか、第45回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2025)(9~12月の2日間、東京)を共催する。電気泳動分析研究懇談会賞(寺部茂賞)の選考、褒章を行う。また、本懇談会ホームページ(HP)の整備を行い、シンポジウムの要旨集アーカイブのHP上での公開ほか、プロトコル集、基礎講座動画の作成・掲載など内容の充実を図る。
- ⑨イオンクロマトグラフィー研究懇談会
分析士(初段)のオンライン試験(1月下旬)を実施予定。分析士(2段)のオンライン試験(6月下旬)、4段(対面8月下旬)を実施予定および分析士専門認証委員会を年2回開催予定。IC企画講演会(9月、第74年会)を開催予定。2025年10月12日~17日に国際会議のAPIAをFlow Analysis(FA)との合同開催予定。2025年11月14日にFIA講演会とIC討論会の合同開催予定(熊本)。運営委員会を年2回開催予定(メール会議を含む)。
- ⑩フローインジェクション分析研究懇談会
第61回FIA講演会とIC討論会(11月14日、熊本市交流会館)を合同で開催する。褒賞および運営委員会を第74年会(9月、北海道大学)の会期中に開催する。第74年会会期中に研究懇談会講演会を行う。第85回分析化学討論会会期中および第61回FIA講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を開催するほか、JAFIA委員会をあわせて開催する。JFIA誌を2回(6月、12月)発行する。日中韓分析化学シンポジウムの開催に協力する。The 24rd International Conference on Flow Injection Analysis(2026年12月、日本)の開催に向けた準備を進める。
- ⑪環境分析研究懇談会
講演会を2回(第74年会会期中および6月または12月)、運営委員会を1回(第74年会会期中)開催する。また、他の研究懇談会や研究会との交流を深め、必要に応じてジョイント講演会を開催する。会員拡充に努め、メーリングリストとホームページを活用した情報発信・情報交換も適宜行う。
- ⑫表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回(第74年会会期中および年度前半・後半)、運営委員会を2回開催する。また、必要に応じ他研究会とのジョイント講演会を開催する。
- ⑬化学分析技能研究懇談会
講演会を2回(第74年会会期中および6月または12月)、運営委員会を1回(第74年会会期中)開催する。会員は増員しているがなお拡充に努める。ホームページを更新し、ニューズレターを創刊したが年に2回以上の発行を目指す。ニューズレターによって会員への技術情報や課題の共有をおこなう。
- ⑭熱分析研究懇談会
講演会を1回開催予定。熱分析討論会を1回開催予定。運営委員会を2~3回開催する。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。
- ⑮溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回(いずれも第74年会中)開催する。第47回溶液化学シンポジウム(京都)を共催する。
- ⑯電気分析化学研究懇談会
第74年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を開催する。また、電気分析化学関連の各種会議との情報交換を密接に実施し、新規運営委員の募集を図る。
- ⑰ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会
第74年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を開催する。他の懇談会とジョイント講演会を開催する。
- ⑱バイオ分析化学研究懇談会
本研究懇談会は、バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流、共同研究の促進などを目的とする。2025年9月に第74年会でのシンポジウムを企画する。また、運営委員会をさらに拡充・充実させるとともに、ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。8月頃には、研究懇談会役員メンバーで立ち上げる別組織の主催行事として「夏の合同セミナー」を開催する。研究懇談会は共催の立場を取り、引き続きサポートを行うことを予定している。
- ⑲スクリーニング分析研究懇談会
講演会を2回(1回は第74年会の会期中)と、運営委員会を

1回開催する。またメーリングリストを活用し、会員間での情報交換を行う。

8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

- ①研究発表会：夏季研究発表会(7月上旬)、冬季研究発表会(1月中旬)を開催する。
- ②講演会：化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
- ③セミナー：第41回分析化学緑陰セミナー(7月)、公開セミナー(9月)、第61回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。
- ④支部ニュースの発行：7月、12月(年2回)

【東北支部】

- ①研究発表会：みちのく分析科学シンポジウム2025の開催、無機・分析化学コロキウムおよび令和7年度化学系学協会東北大会を共催する。
- ②講演会：各地区講演会を開催する。
- ③セミナー：分離機能とセンシング機能の化学セミナー2025、2025年度東日本分析化学若手交流会(関東支部と合同)を開催する。
- ④表彰：東北支部各賞の公募と表彰、東北支部助成金の公募と助成を実施。

【関東支部】

- ①講習会：分析化学基礎セミナー、分析化学の基本と安全セミナー、分析化学基礎実習講座の開催を予定。
- ②地区活動など：新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、群馬・栃木地区分析技術交流会、山梨地区分析交流会、千葉県分析化学交流会、若手交流会の開催を予定。
- ③表彰：新世紀賞・新世紀新人賞の公募と表彰を予定。
- ④産官学連携：分析イノベーション交流会、ものづくり技術交流会2025 in 中国四国、ものづくり技術交流会2025 in 北海道3交流会を開催予定
- ⑤支部ニュースの発行：3月
- ⑥上記支部活動広報のためのホームページほか、常任幹事会で必要と認められた事項を実施

【中部支部】

- ①研究発表会：第56回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(岐阜大学)を共催の予定。
- ②講演会：愛知・長野・富山での地区講演会、および研究者招聘講演会の開催を予定
- ③セミナー：第42回分析化学中部夏季セミナー、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第25回高山フォーラムを開催の予定。

【近畿支部】

- ①講演会：支部講演会(4月、7月、12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催予定。
- ②講習会：ぶんせき講習会・基礎編(1, 2)(5月、7月)、同・実践編(第70回機器による分析化学講習会)(7月)、同・発展編(会期未定)を開催予定。
- ③セミナー：提案公募型事業(随時)、第19回近畿支部夏季セミナー「ぶんせき秘帖」を開催予定。
- ④支部ニュースの発行(年2回発行予定)
- ⑤若手への国際交流助成を年2回募集する(支部復活事業)

【中国四国支部】

- ①研究発表会：第85回分析化学討論会(2025年5月、愛媛大学城北キャンパス)の開催準備・運営。
- ②講演会：支部講演会(3月)、岡山・広島・宇部山陽小野田・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を開催の予定。
- ③セミナー：第31回中国四国支部分析化学若手セミナー(岡山)を開催の予定。

【九州支部】

- ①研究発表会：第62回化学関連支部合同九州大会(7月5日)を開催の予定。
- ②講演会：第38回若手研究講演会および第43回夏季セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会、地区懇談会などを随時開催の予定。
- ③講習会：第63回分析化学講習会を開催の予定。
- ④支部ニュースの発行(年1回発行予定)

令和7年度予算書

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

(単位:円)

科目	令和7年度予算額(税込)	令和6年度予算額(税込)	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,000	400	2,600
基本財産受取利息	3,000	400	2,600
特定資産運用益	550,000	1,300	548,700
退職給付引当資産	0	200	△ 200
標準物質開発基金	0	0	0
国際交流事業基金	100,000	300	99,700
分析化学研究奨励基金	400,000	800	399,200
預り保証金引当預金	50,000	0	50,000
支部研究懇談会特定預金	0	0	0
受取入会金	185,000	101,300	83,700
受取入会金	185,000	101,300	83,700
受取会費	71,273,000	66,775,000	4,498,000
正会員受取会費	24,000,000	23,962,000	38,000
学生会員受取会費	2,200,000	2,010,000	190,000
維持会員受取会費	14,600,000	13,232,000	1,368,000
特別会員受取会費	14,300,000	14,999,000	△ 699,000
公益会員受取会費	9,000,000	6,004,000	2,996,000
シニア会員受取会費	600,000	0	600,000
支部研究懇談会受取会費	6,573,000	6,568,000	5,000
事業収益	117,348,800	103,175,000	14,173,800
購読料収入	4,300,000	4,308,000	△ 8,000
年会収入	19,500,000	18,232,000	1,268,000
討論会収入	13,725,900	12,115,000	1,610,900
講演会収入/講習会収入(含む支部/研究懇談会主催討論会・若手の会収入)	21,985,000	23,536,000	△ 1,551,000
Asianalysis 参加登録料他収入	14,000,000	0	14,000,000
技能試験/分析士事業収入	3,849,500	4,471,000	△ 621,500
印税収入	602,000	606,000	△ 4,000
教材頒布収入	429,000	54,000	375,000
標準物質収入	17,658,400	18,108,000	△ 449,600
広告料収入	15,290,000	16,707,000	△ 1,417,000
別刷頒布収入	5,009,000	5,017,000	△ 8,000
複写権使用料収入	1,000,000	21,000	979,000
受取補助金等	1,430,000	880,000	550,000
受取補助金等	1,430,000	880,000	550,000
雑収益	990,892	1,135,000	△ 144,108
雑収入	990,892	1,135,000	△ 144,108
経常収益計	191,780,692	172,068,000	19,712,692
(2) 経常費用			
事業費	154,178,692	137,058,000	17,120,692
給与手当	25,620,000	21,546,000	4,074,000
臨時雇賃金	5,451,000	8,225,000	△ 2,774,000
退職給付費用	0	1,321,000	△ 1,321,000
法定福利費	5,124,000	4,541,000	583,000
会議費	18,551,335	13,735,000	4,816,335
旅費交通費	11,116,000	5,910,000	5,206,000
通信運搬費	3,406,726	1,470,000	1,936,726
減価償却費	650,000	648,000	2,000
修繕費	1,300,000	1,412,000	△ 112,000
消耗品費	2,597,500	1,931,000	666,500
印刷製本費	18,691,000	18,434,000	257,000
光熱水料費	200,000	0	200,000
賃借料	14,108,000	10,394,000	3,714,000
支払リース料	0	0	0
支払保険料	0	65,000	△ 65,000
諸謝金	5,373,074	5,687,000	△ 313,926
租税公課	4,143,000	3,949,000	194,000
支払負担金	385,000	662,000	△ 277,000
支払助成金	4,810,000	5,310,000	△ 500,000

科 目	令和7年度予算額(税込)	令和6年度予算額(税込)	増 減
委託費	29,285,757	27,818,000	1,467,757
表彰費	2,886,650	1,885,000	1,001,650
雑費	479,650	1,175,000	△ 695,350
会長企画戦略経費	0	0	0
記念行事費・情報交換会費	0	940,000	△ 940,000
管 理 費	37,602,000	35,010,000	2,592,000
給与手当	12,810,000	10,773,000	2,037,000
臨時雇賃金	3,288,000	5,723,000	△ 2,435,000
退職給付費用	1,700,000	789,000	911,000
法定福利費	2,562,000	2,270,000	292,000
福利厚生費	50,000	560,000	△ 510,000
会議費	100,000	0	100,000
旅費交通費	1,000,000	1,348,000	△ 348,000
通信運搬費	900,000	1,291,000	△ 391,000
減価償却費	0	24,000	△ 24,000
修繕費	1,400,000	261,000	1,139,000
消耗品費	300,000	281,000	19,000
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	50,000	257,000	△ 207,000
賃借料	80,000	646,000	△ 566,000
支払リース料	5,600,000	4,358,000	1,242,000
諸謝金・租税公課	12,000	6,000	6,000
支払負担金	1,000,000	0	1,000,000
委託費	6,000,000	6,146,000	△ 146,000
雑費	750,000	277,000	473,000
会長企画戦略経費	0	0	0
経 常 費 用 計	191,780,692	172,068,000	19,712,692
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			0
(1)経常外収益			0
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	245,688,141	244,720,839	967,302
一般正味財産期末残高	245,688,141	244,720,839	967,302
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	245,688,141	244,720,839	967,302